



### 湿原散歩

2月は逃げるように過ぎ、3月は早くも彼岸を迎えようとしている。雪と氷に閉ざされた湿原も眩い陽射しの下、水を湛え始めた湖面には、ヒシクイが羽を休める姿が見えた。日を追うごとにその数も増え、その群れの中にはカモの仲間も加わり、賑やかなその光景は北国に春を告げているようだ。先日、雪残る荒涼とした湿原の中をタンチョウのつがいが歩いていた。枯れヨシに見え隠れしながら、営巣地を探しているのだろうか。渡る風はまだ冷たいが、ヒシクイが北へ向け姿を消す頃には、タンチョウのつがいに新しい命が生まれていることだろう。



## 塘路フィールドノート【2/15～3/14】

### 【野鳥】

塘路湖畔は小鳥たちのさえずりの声で賑やかになってきました。さらに、渡り鳥の飛来が始まり、解氷が始まった湖面には冬の間姿を消していた水鳥たちも少しずつ戻ってきています。野鳥たちの動きに春が近いことを実感します。



アオサギ (塘路湖畔)

昨年より一日早く飛来を確認しました。胸には繁殖期特有の立派な飾り羽が見えます



ホオジロガモ (塘路湖)

他のカモたちに混じていたペア(左が♂)。湖面が結氷して以降久しぶりの確認でした



シメ (塘路湖畔)

センター前の雪が解けた場所で採餌中。春の気配を感じさせるこの時期らしい光景です



ノスリ (塘路湖畔)

国道沿いの電線に止まって辺りを観察中。ワシたちに混じて時々姿を見かけます



ミコアイサ (塘路湖)

初冬はエクリプスだった♂もすっかりパンダガモへと変身。塘路湖では春限定の姿です



スズメ (塘路湖畔)

春を告げる鳥の一つ。留鳥ですが、例年厳冬期は姿を消し、暖かくなると戻ってきます

## ○春はもうすぐそこ

サルボ展望台下の斜面でキタミフクジュソウが咲き始めました。南向きで日当たりがよいこの斜面は、例年塘路湖周辺で最も開花が早い場所。センター周辺でもあと一週間ほどすれば、花が咲き始めるでしょう。

また、先日はフィトンチッドの森で、エゾリスがイタヤカエデの枝を舐めて樹液を飲んでいる姿を目撃しました。樹液が出ているということは樹木の活動が活発になってきている証拠。さらに、湖畔ではエゾノバッコヤナギやネコヤナギなどのヤナギ科の樹木の芽吹きも始まっています。長い休眠から目覚め、植物たちは徐々に春モードへと変わってきているようです。



## ○去り行く冬と近づきつつある春を感じる観察会

3月6日(土)、残雪の塘路湖畔で冬の名残と春の足音を感じる観察会を開催しました。この日のテーマは三つで、最初のテーマは湖岸での冬鳥の観察。一部湖面が解氷しているエリアで冬鳥のカモを探したものの、残念ながらほとんど姿は見られず、上空を飛ぶワシの姿もあまり見られませんでした。二つ目のテーマが動物たちの足跡を観察すること。雪解けが進んで見えかかっていたものの、少数ながら、エゾシカやエゾリスの足跡を見つけることができました。最後のテーマが五感で春を感じる。小鳥たちのさえずりなどの春を感じる音はほとんど聞くことができなかつた一方、ヤナギの芽吹きや、雪の下から顔を出した常緑低木のフッキソウなどの春の息吹を感じる事ができました。

これら三つのテーマに加え、今回のイベントでは、積雪期にしか行くことができないアオサギのコロニーや殖民軌道跡地の紹介も併せて行いました。

参加者 8名



## 【開館時間変更のお知らせ】

4月1日(木)よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○ 10:00 ~ 16:00 → **10:00 ~ 17:00** (令和3年10月31日まで)

## 4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 早春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 4月24日(土) 10時~12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森 (集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 春の足音を聞きに行こう

[日 時] 4月11日(日) 10時~12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

(0154-65-2323)



# 令和3年度 自然ふれあい行事予定表

<p>●<b>早春の湿原 野鳥観察会</b> 4月24日(土) 10時～12時 定員10名 早春の釧路湿原に生息する野鳥を散策しながら観察します。</p>	<p>●<b>晩秋の湿原 野鳥観察会</b> 10月23日(土) 10時～12時 定員10名 越冬のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。</p>
<p>●<b>「昔のしべちゃ」写真展</b> 5月1日(土)～5月9日(日) 10時～17時 標茶で撮影された昔の写真を紹介する展示会です。(標茶町博物館との共催行事)</p>	<p>●<b>初冬のキノコ講座</b> 11月6日(土) 10時～12時 定員10名 夏と秋の観察会で見られたキノコについて講師が解説する座学講座です。(当回だけの参加も可)</p>
<p>●<b>塘路フィールドウォッチング～春編～</b> 5月4日(祝) 10時～12時 定員10名 春の塘路湖畔を散策しながら、飛来し始めた夏鳥や春の植物を観察します。</p>	<p>●<b>クリスマスリースを作ろう</b> 11月20日(土) 13時～15時 定員10名 松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。</p>
<p>●<b>新緑の湿原 野鳥観察会</b> 6月5日(土) 8時～10時 定員10名 夏鳥が勢揃いしたフィールドで、繁殖期の野鳥の姿とさえずりの特徴を教わりながら散策します。</p>	<p>●<b>シマエナガフィギュアを作ろう</b> 12月4日(土) 13時～15時 定員10名 紙粘土を使って「雪の妖精」と呼ばれるかわいいシマエナガのフィギュアを作ります。</p>
<p>●<b>縄文土器作り講座</b> 7月3日(土) 10時～14時 定員10名 縄文時代の遺跡が残る塘路、当時の土器を参考にオリジナル土器を作ります。</p>	<p>●<b>塘路フィールドウォッチング～初冬編～</b> 12月18日(土) 10時～12時 定員10名 初冬の塘路湖畔で、オオワシ・オジロワシなどの野鳥や塘路湖の氷の造形などを観察します。</p>
<p>●<b>夏休み 釧路湿原キノコ観察会</b> 8月7日(土) 10時～12時 定員10名 森の中を散策しながら、夏に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。</p>	<p>●<b>連凧を作って揚げよう</b> 1月8日(土) 10時～12時 定員10名 自作の凧に干支文字やイラスト等を描いて、新年を迎えた湿原の空に揚げてみましょう。</p>
<p>●<b>釧路湿原 自然と歴史を訪ねて</b> 8月14日(土) 10時～12時 定員10名 サルボ・サルルン展望台周辺を散策しながら、釧路湿原の自然や遺跡を観察します。</p>	<p>●<b>釧路湿原フィールドウォッチング</b> 2月5日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。スノーシュー使用。</p>
<p>●<b>秋のキノコ観察会</b> 9月4日(土) 10時～12時 定員10名 森の中を散策しながら、秋に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。</p>	<p>●<b>塘路フィールドウォッチング～晩冬編～</b> 3月5日(土) 10時～12時 定員10名 残雪のフィールドを散策しながら塘路湖周辺の自然や遺跡などを観察します。</p>
<p>●<b>ムックリ(口琴)を作ろう</b> 10月16日(土) 13時～15時 定員10名 アイヌ人が使っていた楽器ムックリを作って、その音色を楽しみましょう。</p>	<p>※事前の申し込みが必要です。(写真展を除く) ※申込み先：塘路湖エコミュージアムセンター ※定員に達し次第締切りとなります。 ※定員は現時点での予定(変更の可能性あり)</p>

◆日出・日入時間 2/15(6:19,16:53). 2/28(6:00,17:10). 3/14(5:36,17:27)

～編集後記～

■冬の終わりとともに塘路湖のワカサギ釣りが終了し、湖を覆っていた氷も岸边から徐々に解け始めています。朝と昼の寒暖差はあるものの、陽射しの強さは北国に春の訪れを告げているようです。間もなく新年を迎えますが、引き続き新型コロナウイルス対策は継続しながら、行事等を開催しますので、皆さんのご参加お待ちしております。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料